

土質調査業務委託特記仕様書

1 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は、「地質・土質調査共通仕様書」の第101条第3項に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は、前記標準仕様書による。

2 業務の対象

- (1) 名 称 土質調査業務委託（都雨水7－1）
- (2) 位 置 千葉市中央区都町2丁目地内外
- (3) 工 期 令和8年3月20日まで
- (4) 実施箇所 4箇所（別紙位置図のとおり）
- (5) 設計条件項目

- ア 本作業を実施するにあたり、近隣店舗および居住者等に作業の承諾を得ること。
- イ 水準点は、監督職員の指定した公共点（KBM）を使用するものとする。
- ウ 土質定数は、監督職員との協議により決定するものとする。
- エ 調査にあたり、地下埋設物の状況を確認すること。
- オ ボーリングは指示された深度まで行う。なお、十分な支持層（N値50以上の層が連続5m以上）が得られない場合は監督員の指示により、支持層が確認できるまでボーリング深度を増加する。また、予定深度より浅いところにN値50以上の層が得られた場合は、さらに5m（岩盤の場合は1m）ボーリングを行い、監督員の指示により支持層を確認し、掘進は打ち切って良い。
- カ ボーリング実施中の状況については、必ず写真撮影を行うこと。
- キ 土質調査は「下水道実施（基本）設計業務委託（都雨水7－1）」の受託業者と業務・日程調整を行いながら実施するものとする。

(6) 電子納品

- ア 本作業は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、調査・設計・工事等の各業務段階の最終成果を電子データで納品することを言う。ここで言う電子データとは、「地質・土質調査成果電子納品要領（平成28年10月）：（以下、「要領」という。）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを示す。
- イ 成果品は、「要領」に基づいて作成した電子データを電子媒体で2部提出する。「要領」で特に記載がない項目については、監督職員と協議により決定するものとする。なお、電子納品に対応するための措置については、「千葉市 電子納品運用ガイドライン【委託業務編】（平成30年4月）」を参考にするものとする。
- ウ 成果品提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で提出すること。

3 その他

- (1) この仕様書に定めのない事項又は、この仕様書について疑義が生じた事項については、必要に応じて監督職員と受注者が協議して定めることとする。